

平成27年4～6月期結果(確報)の概要

I 今期の概況

1 今期の個人企業（個人経営の事業所）の業況判断D I

① 今期の業況判断

今期（平成27年4～6月期）の業況判断D Iは (-)60.3 で、前期（平成27年1～3月期）(-65.4)に比べ、5.1ポイントの改善。

② 来期の見通し

来期（平成27年7～9月期）の業況見通しD Iは (-)57.2 で、今期の業況判断 (-60.3)に比べ、3.1ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 — 調査産業計 —

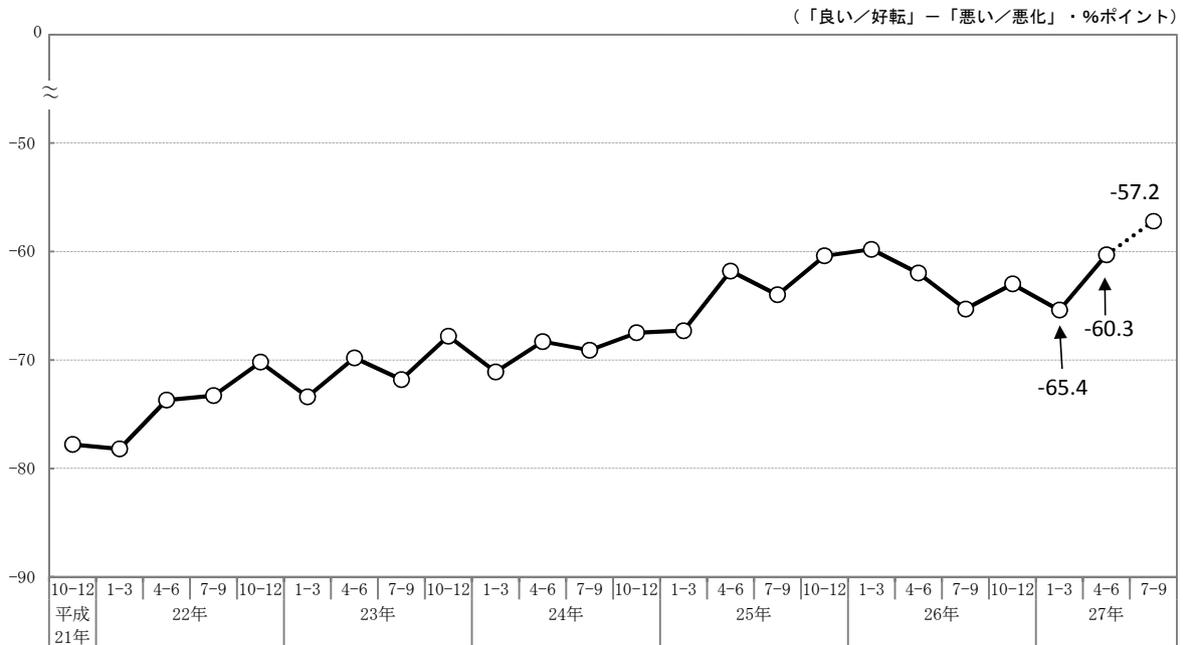


表1 業況判断の割合 — 調査産業計 —

	平成26年			27年		
	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期 見通し
今期の業況, 来期の業況 (%)						
良い/好転	3.7	2.9	4.0	3.1	3.5	3.2
普通/不変	30.6	28.9	29.0	28.4	32.7	36.5
悪い/悪化	65.7	68.2	67.0	68.5	63.8	60.4
D I	-62.0	-65.3	-63.0	-65.4	-60.3	-57.2

参考	調査産業計					
	日銀短観(大企業)	日銀短観(全企業)	中小企業景況調査(大企業)	中小企業景況調査(全企業)	中小企業景況調査(大企業)	中小企業景況調査(全企業)
	16	13	14	16	19	18
	-27.6	-28.3	-28.1	-29.7	-24.6	-14.5

(注) 「中小企業景況調査」：(独)中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成27年7月上旬から中旬までである。

2 今期の売上高及び営業利益

① 今期の1事業所当たりの売上高は、	
□「製造業」は	246万6000円で、前年同期に比べ、15.7%の増加
□「卸売業、小売業」は	372万9000円で、前年同期に比べ、6.3%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	214万8000円で、前年同期に比べ、0.3%の減少
□「サービス業」は	132万7000円で、前年同期に比べ、9.7%の増加
② 今期の1事業所当たりの営業利益は、	
□「製造業」は	67万3000円で、前年同期に比べ、9.8%の増加
□「卸売業、小売業」は	42万8000円で、前年同期に比べ、0.7%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	36万5000円で、前年同期に比べ、9.2%の減少
□「サービス業」は	46万9000円で、前年同期に比べ、2.9%の増加

※前年同期(平成26年4～6月期)

表2 産業別売上高及び営業利益

(1事業所当たり)

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業		
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
実数 (千円)	平成25年	4～6月期	2,183	630	3,932	398	2,087	424	1,405	522
		7～9月期	2,119	651	3,969	446	2,158	433	1,274	437
		10～12月期	2,474	676	4,376	441	2,249	406	1,274	448
	平成26年	1～3月期	2,293	654	4,007	463	2,018	341	1,102	352
		4～6月期	2,131	613	3,981	431	2,154	402	1,210	456
		7～9月期	2,314	626	4,146	370	2,168	420	1,230	433
	平成27年	10～12月期	2,444	658	4,384	511	2,150	422	1,301	480
		1～3月期	2,182	595	3,601	394	2,042	373	1,227	395
		4～6月期	2,466	673	3,729	428	2,148	365	1,327	469
	前年同期比 (%)	平成25年	4～6月期	-12.5	4.0	-8.1	-4.1	0.0	21.8	16.7
7～9月期			-9.1	6.4	-5.5	3.0	-0.3	22.3	8.8	5.0
10～12月期			-7.8	-11.6	-1.2	1.4	2.7	4.1	-1.3	-3.2
平成26年		1～3月期	9.9	16.2	1.5	25.8	-1.9	-11.0	-10.6	-17.6
		4～6月期	-2.4	-2.7	1.2	8.3	3.2	-5.2	-13.9	-12.6
		7～9月期	9.2	-3.8	4.5	-17.0	0.5	-3.0	-3.5	-0.9
平成27年		10～12月期	-1.2	-2.7	0.2	15.9	-4.4	3.9	2.1	7.1
		1～3月期	-4.8	-9.0	-10.1	-14.9	1.2	9.4	11.3	12.2
		4～6月期	15.7	9.8	-6.3	-0.7	-0.3	-9.2	9.7	2.9

3 今期の設備投資額

① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、	
□「製造業」は	14万8000円で、前年同期(8万5000円)に比べ、増加
□「卸売業、小売業」は	7万9000円で、前年同期(6万8000円)に比べ、増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	8万2000円で、前年同期(4万5000円)に比べ、増加
□「サービス業」は	4万7000円で、前年同期(7万5000円)に比べ、減少
② 今期の1事業所当たりの設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は、	
□「製造業」は	6.0%で、前年同期(4.0%)に比べ、2.0ポイントの上昇
□「卸売業、小売業」は	2.1%で、前年同期(1.7%)に比べ、0.4ポイントの上昇
□「宿泊業、飲食サービス業」は	3.8%で、前年同期(2.1%)に比べ、1.7ポイントの上昇
□「サービス業」は	3.5%で、前年同期(6.2%)に比べ、2.7ポイントの低下

※前年同期(平成26年4～6月期)

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

(1事業所当たり)

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)
平成25年	4～6月期	56	2.6	118	3.0	59	2.8	63	4.5
	7～9月期	139	6.6	81	2.0	78	3.6	45	3.5
	10～12月期	122	4.9	89	2.0	89	4.0	44	3.5
平成26年	1～3月期	116	5.1	83	2.1	87	4.3	73	6.6
	4～6月期	85	4.0	68	1.7	45	2.1	75	6.2
	7～9月期	104	4.5	85	2.1	77	3.6	40	3.3
平成27年	10～12月期	78	3.2	89	2.0	118	5.5	43	3.3
	1～3月期	111	5.1	109	3.0	47	2.3	37	3.0
	4～6月期	148	6.0	79	2.1	82	3.8	47	3.5

Ⅱ 業況判断

1 調査産業計

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成27年4～6月期）の業況判断D Iは（-）60.3 で、前期（平成27年1～3月期）（-65.4）に比べ、5.1ポイント改善した。

イ 前期と比較した業況判断D Iは（-）40.8 で、前期（-56.1）に比べ、15.3ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成26年4～6月期）と比較した業況判断D Iは（-）49.7 で、前期（-56.1）に比べ、6.4ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成27年7～9月期）の業況見通しD Iは（-）57.2 で、今期の業況判断（-60.3）に比べ、3.1ポイントの改善の見通しとなっている。

図2 業況判断D Iの推移 —調査産業計—

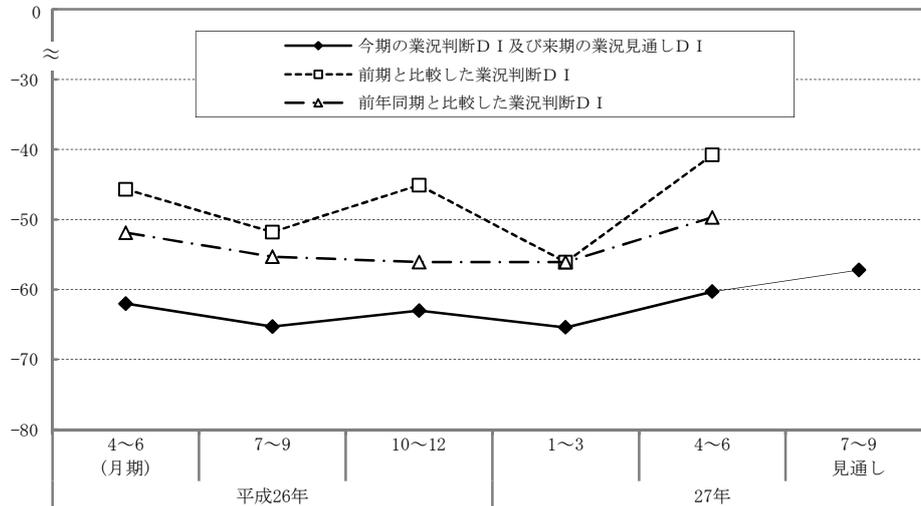
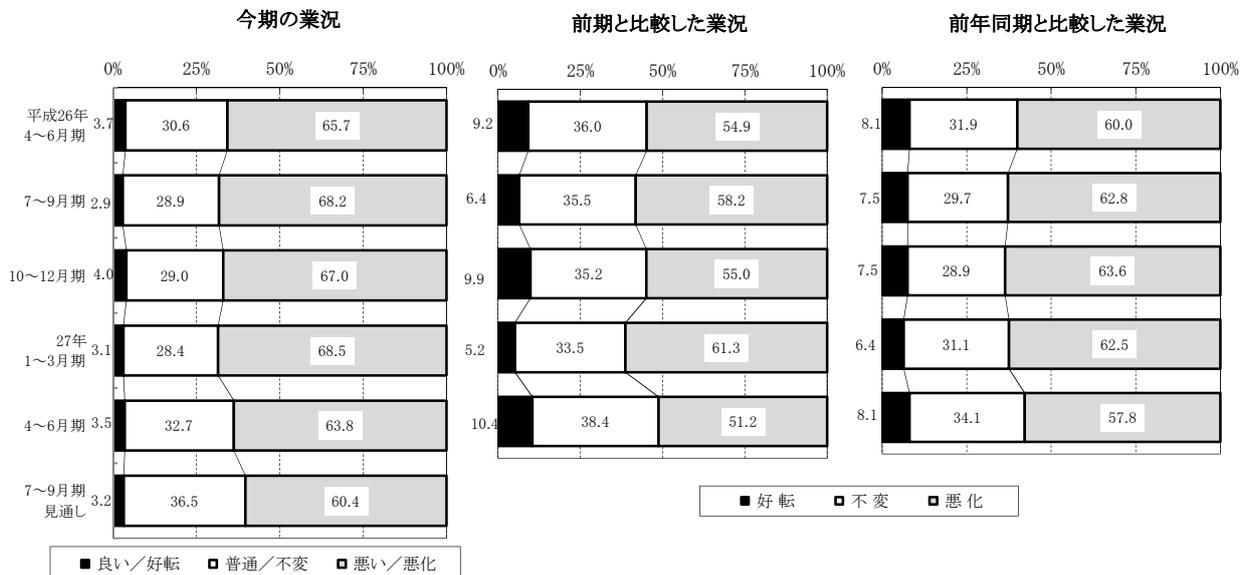


図3 業況判断の割合 —調査産業計—



(2) 売上の状況

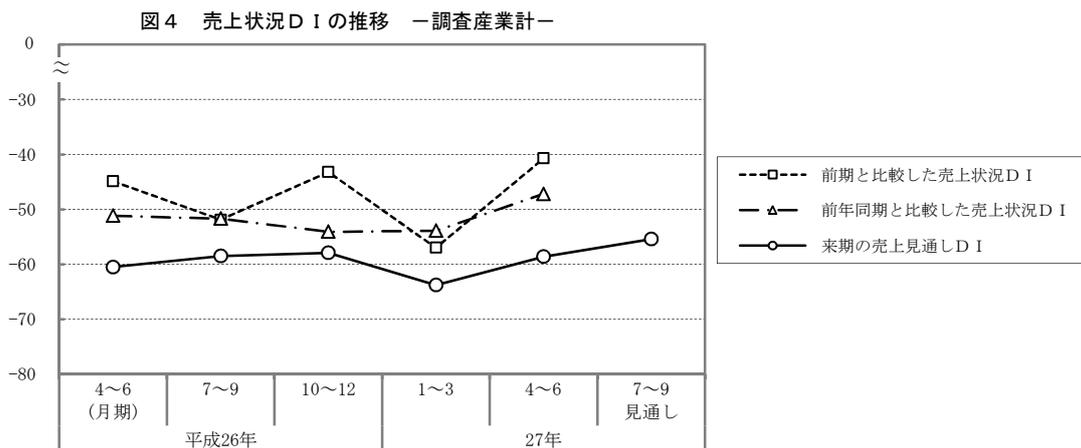
① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況DIは (-)40.7 で、前期 (-57.0) に比べ、16.3 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは (-)47.2 で、前期 (-53.9) に比べ、6.7 ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは (-)55.4 で、前期における今期の売上見通し (-58.6) に比べ、3.2 ポイントの改善の見通しとなっている。



(3) 営業利益の状況

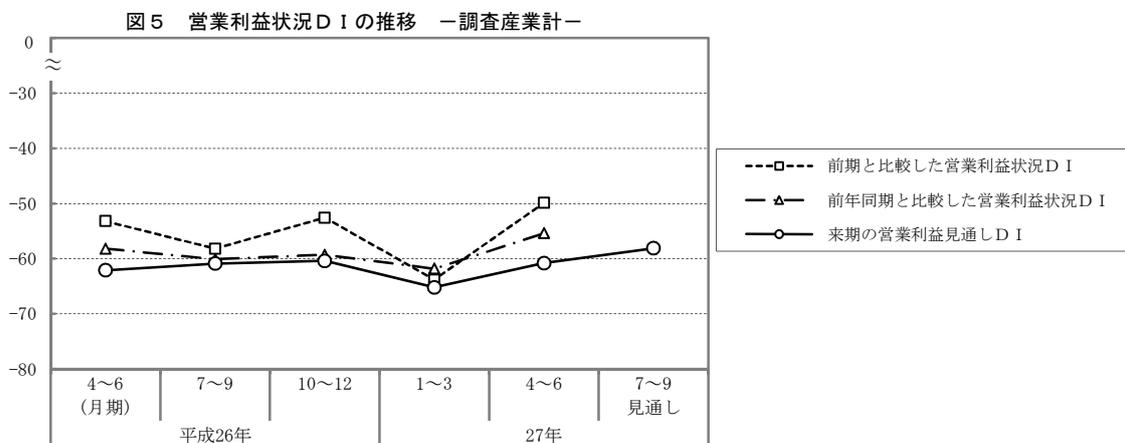
① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)49.9 で、前期 (-63.8) に比べ、13.9 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)55.4 で、前期 (-61.8) に比べ、6.4 ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

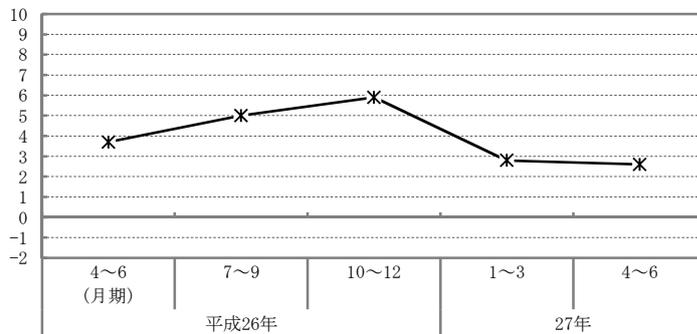
来期の営業利益見通しDIは (-)58.1 で、前期における今期の営業利益見通し (-60.8) に比べ、2.7ポイントの改善の見通しとなっている。



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)2.6 で、前期 (+2.8) に比べ、0.2ポイント「過剰」が縮小した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

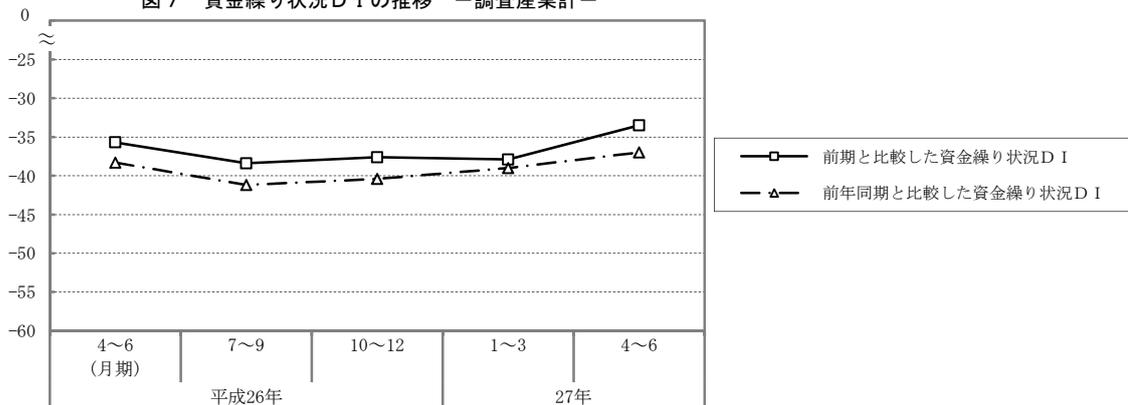


(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)33.5 で、前期 (-37.9) に比べ、4.4ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)37.0 で、前期 (-39.0) に比べ、2.0ポイント改善した。

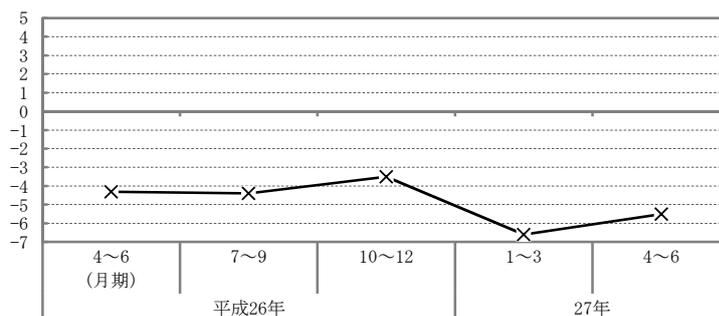
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)5.5 で、前期 (-6.6) に比べ、1.1ポイント「不足」が縮小した。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



2 製造業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成27年4～6月期）の業況判断DIは(-)51.4で、前期（平成27年1～3月期）(-58.3)に比べ、6.9ポイント改善した。

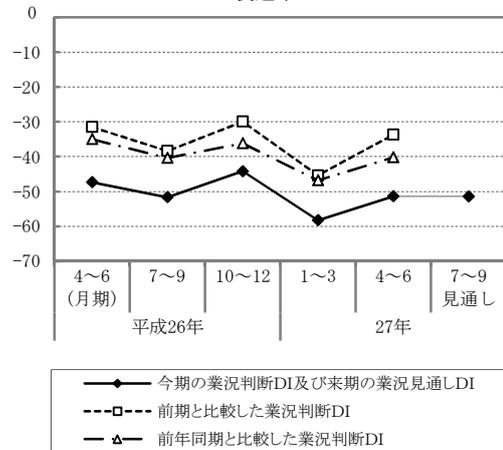
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)33.7で、前期(-45.4)に比べ、11.7ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成26年4～6月期）と比較した業況判断DIは(-)40.2で、前期(-46.8)に比べ、6.6ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成27年7～9月期）の業況見通しDIは(-)51.4で、今期の業況判断(-51.4)から、横ばいの見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移
—製造業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

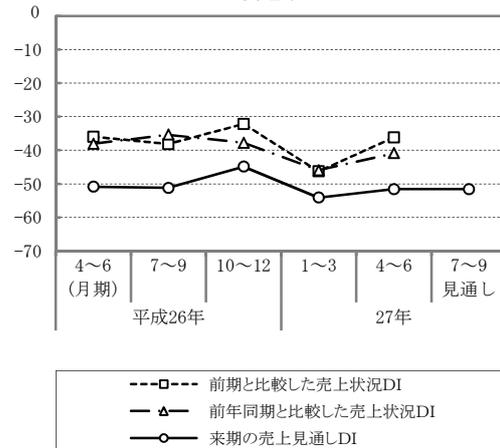
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)36.2で、前期(-46.3)に比べ、10.1ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)40.9で、前期(-46.0)に比べ、5.1ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)51.6で、前期における今期の売上見通し(-51.6)から、横ばいの見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移
—製造業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

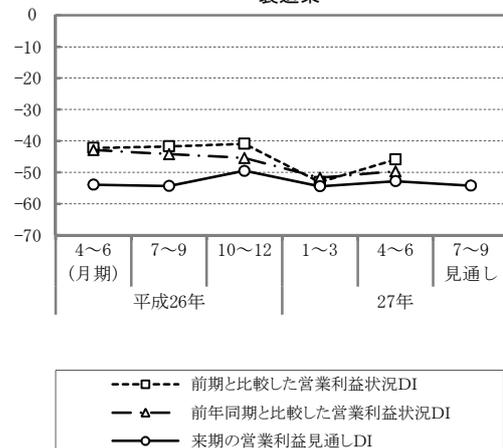
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)45.9で、前期(-53.1)に比べ、7.2ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)49.7で、前期(-51.7)に比べ、2.0ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)54.2で、前期における今期の営業利益見通し(-52.8)に比べ、1.4ポイントの悪化の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移
—製造業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)1.3 で、前期 (+1.8) に比べ、0.5 ポイントト「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)29.6 で、前期 (-29.7) に比べ、0.1 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)33.0 で、前期 (-30.4) に比べ、2.6 ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)7.2 で、前期 (-6.2) に比べ、1.0 ポイント「不足」が拡大した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -製造業-

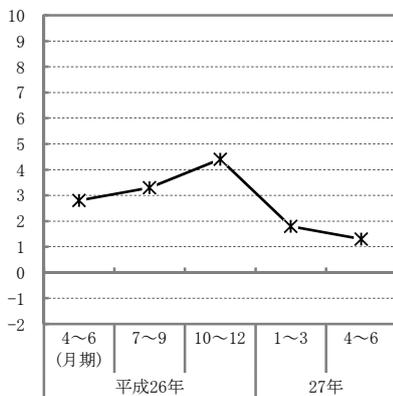


図13 資金繰り状況DIの推移 -製造業-

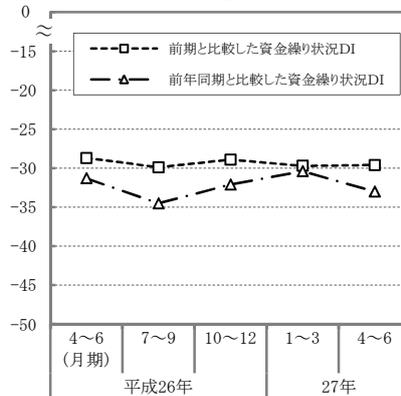
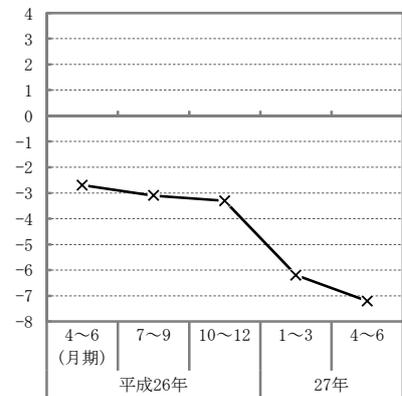


図14 雇用状況DIの推移 -製造業-



3 卸売業, 小売業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成27年4～6月期）の業況判断DIは (-)64.2 で、前期（平成27年1～3月期） (-68.5) に比べ、4.3 ポイント改善した。

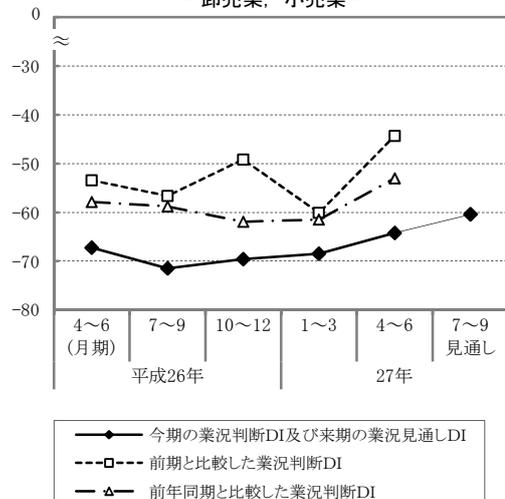
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)44.3 で、前期 (-60.1) に比べ、15.8 ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成26年4～6月期）と比較した業況判断DIは (-)53.0 で、前期 (-61.5) に比べ、8.5 ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成27年7～9月期）の業況見通しDIは (-)60.4 で、今期の業況判断 (-64.2) に比べ、3.8 ポイントの改善の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 -卸売業, 小売業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

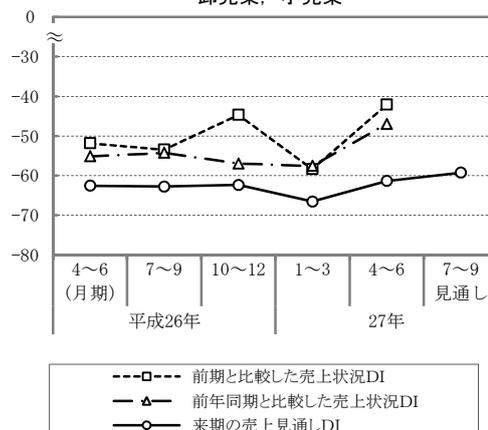
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)42.1で、前期(-58.4)に比べ、16.3ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)47.0で、前期(-57.6)に比べ、10.6ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)59.3で、前期における今期の売上見通し(-61.4)に比べ、2.1ポイントの改善の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

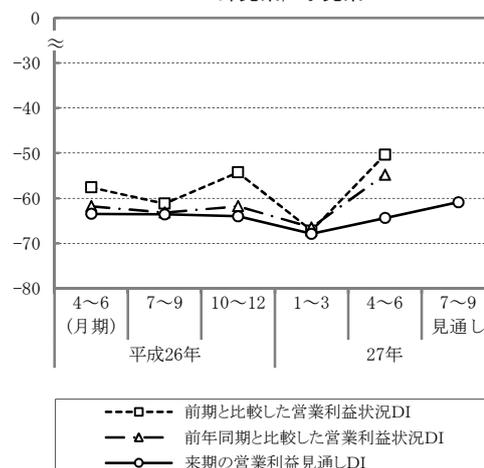
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)50.4で、前期(-67.2)に比べ、16.8ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)54.8で、前期(-66.5)に比べ、11.7ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)60.9で、前期における今期の営業利益見通し(-64.4)に比べ、3.5ポイントの改善の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+)6.7で、前期(+)7.6)に比べ、0.9ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)33.9で、前期(-38.1)に比べ、4.2ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)37.9で、前期(-39.7)に比べ、1.8ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)5.0で、前期(-6.0)に比べ、1.0ポイント「不足」が縮小した。

図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業、小売業-

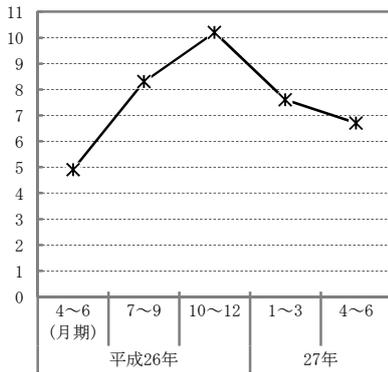


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業、小売業-

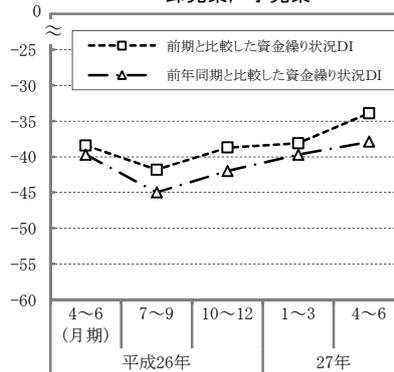
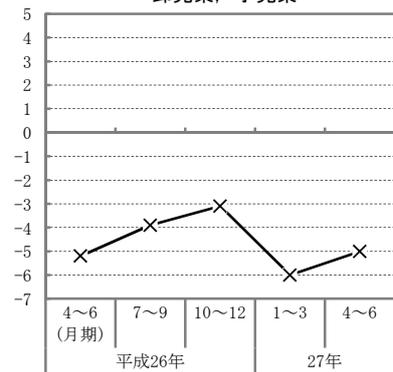


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業、小売業-



4 宿泊業、飲食サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成27年4～6月期）の業況判断DIは(-)57.8で、前期（平成27年1～3月期）(-56.6)に比べ、1.2ポイント悪化した。

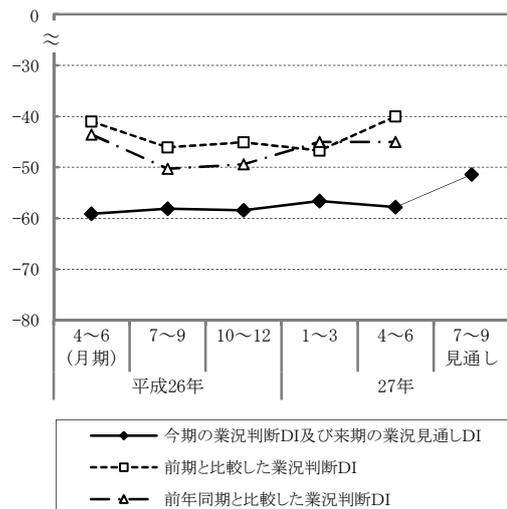
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)40.0で、前期(-46.7)に比べ、6.7ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成26年4～6月期）と比較した業況判断DIは(-)45.0で、前期(-45.0)から横ばいとなった。

② 来期の業況見通し

来期（平成27年7～9月期）の業況見通しDIは(-)51.4で、今期の業況判断(-57.8)に比べ、6.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業、飲食サービス業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

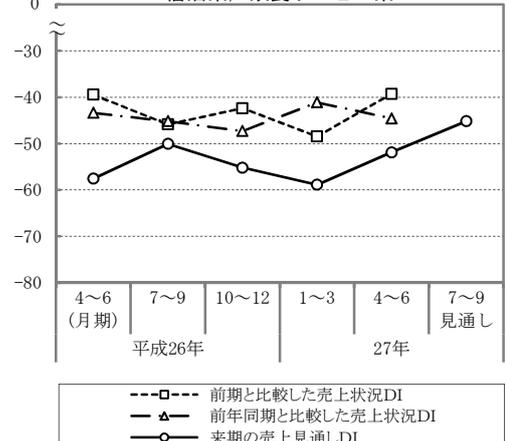
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)39.3で、前期(-48.5)に比べ、9.2ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)44.6で、前期(-41.1)に比べ、3.5ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)45.2で、前期における今期の売上見通し(-51.9)に比べ、6.7ポイントの改善の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業、飲食サービス業-



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

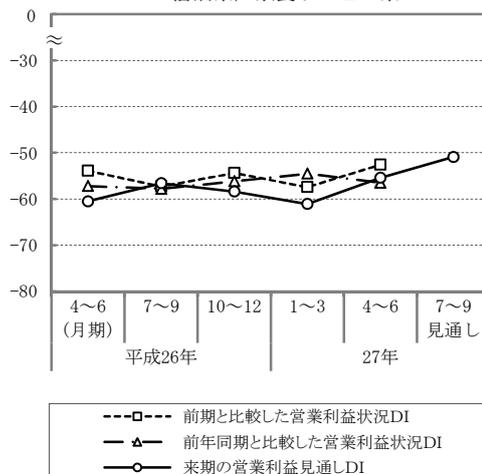
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)52.6で、前期(-57.4)に比べ、4.8ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)56.5で、前期(-54.5)に比べ、2.0ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)50.9で、前期における今期の営業利益見通し(-55.4)に比べ、4.5ポイントの改善の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(-)0.9で、前期(-2.6)に比べ、1.7ポイント「不足」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)36.2で、前期(-41.4)に比べ、5.2ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)40.1で、前期(-42.3)に比べ、2.2ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)8.1で、前期(-13.1)に比べ、5.0ポイント「不足」が縮小した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

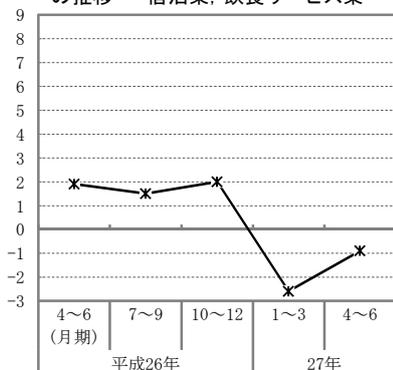


図25 資金繰り状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

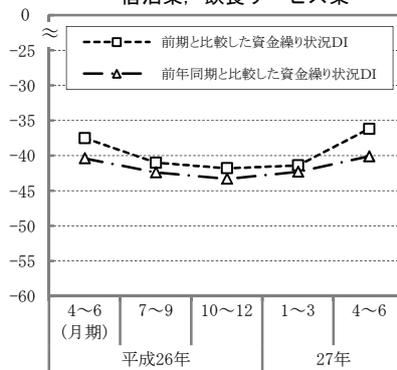
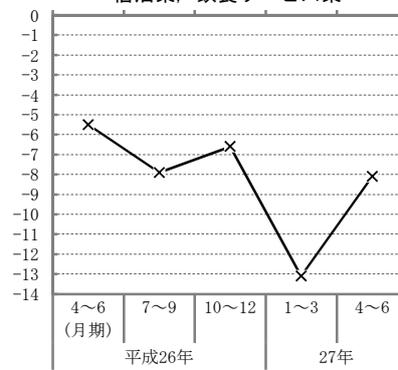


図26 雇用状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



5 サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成27年4～6月期）の業況判断DIは(-)60.7で、前期（平成27年1～3月期）(-70.3)に比べ、9.6ポイント改善した。

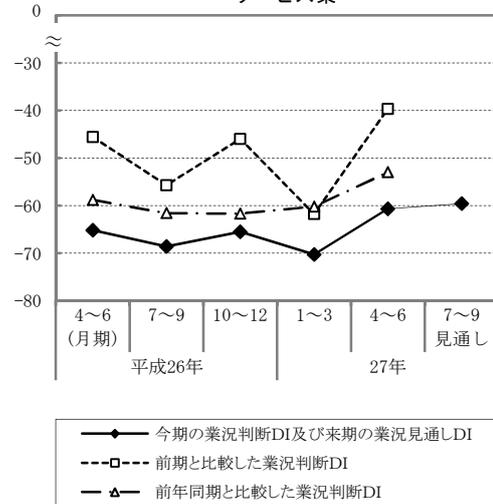
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)39.7で、前期(-61.8)に比べ、22.1ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成26年4～6月期）と比較した業況判断DIは(-)53.0で、前期(-60.2)に比べ、7.2ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成27年7～9月期）の業況見通しDIは(-)59.6で、今期の業況判断(-60.7)に比べ、1.1ポイントの改善の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移
—サービス業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

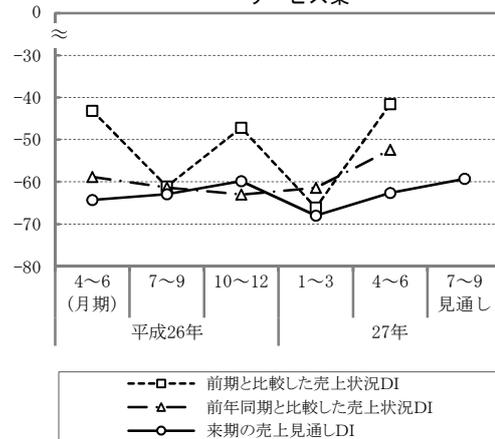
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)41.6で、前期(-66.1)に比べ、24.5ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)52.4で、前期(-61.4)に比べ、9.0ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)59.3で、前期における今期の売上見通し(-62.6)に比べ、3.3ポイントの改善の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移
—サービス業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

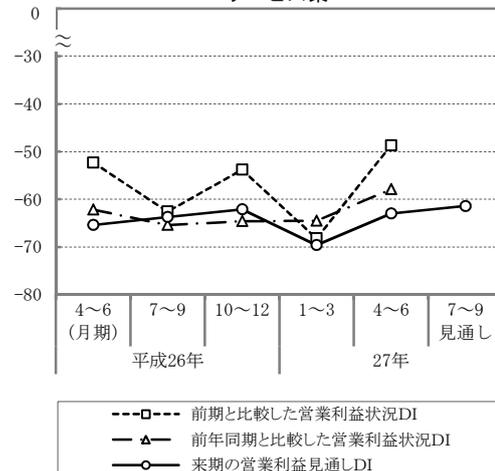
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)48.7で、前期(-68.2)に比べ、19.5ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)57.9で、前期(-64.5)に比べ、6.6ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)61.4で、前期における今期の営業利益見通し(-63.0)に比べ、1.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移
—サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+) 0.3 で、前期(+ 0.1)に比べ、 0.2 ポイント「過剰」が拡大した。

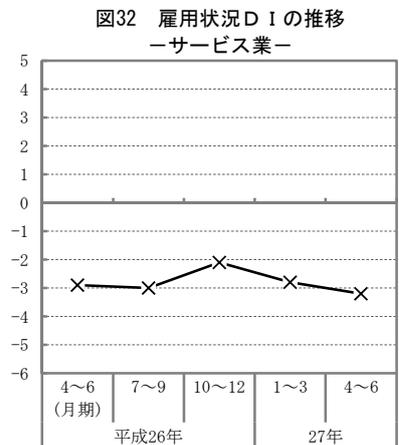
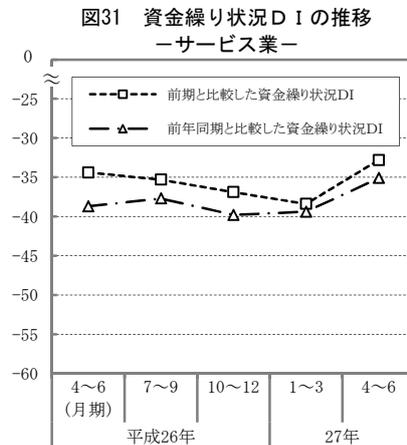
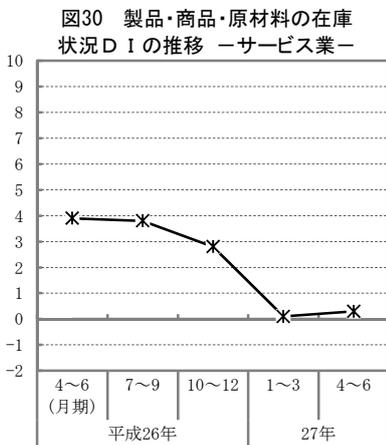
(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-) 32.8 で、前期(- 38.4)に比べ、 5.6 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-) 35.1 で、前期(- 39.4)に比べ、 4.3 ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-) 3.2 で、前期(- 2.8)に比べ、 0.4 ポイント「不足」が拡大した。



Ⅲ 営業収支

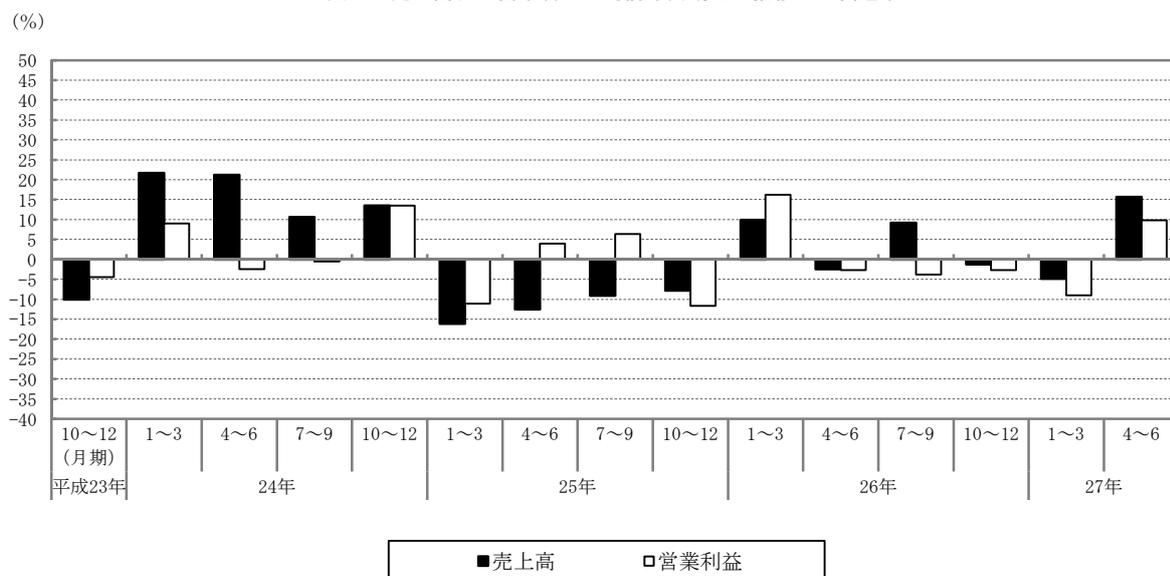
1 製造業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は246万6000円で、これに対する費用は売上原価が82万5000円、営業費が96万7000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は67万3000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 15.7% で、3期ぶりに増加した。また、営業利益は(+) 9.8% で、5期ぶりに増加した。

図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 — 製造業 —

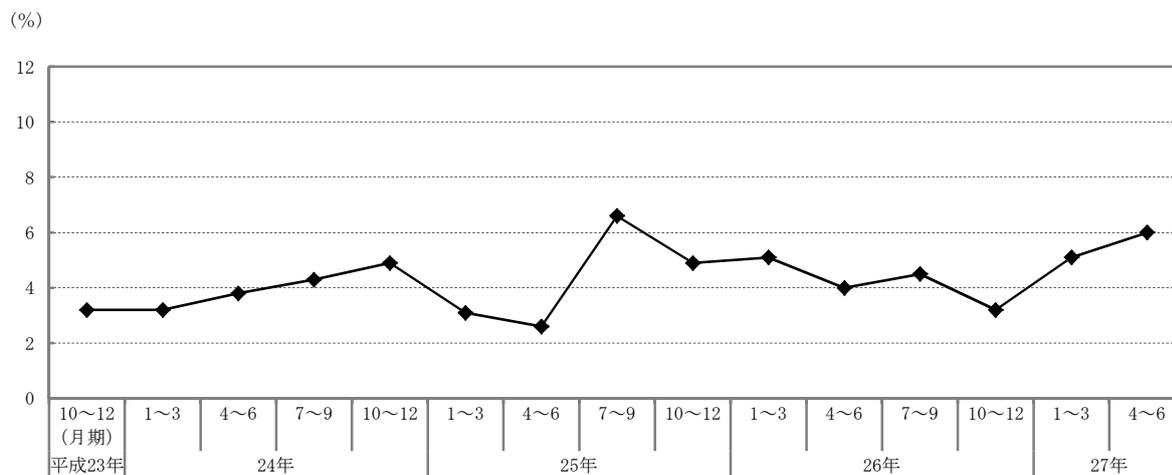


(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は14万8000円で、前年同期(8万5000円)を上回った。

また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は 6.0% で、前年同期(4.0%)を2.0ポイント上回った。

図34 設備投資率の推移 — 製造業 —



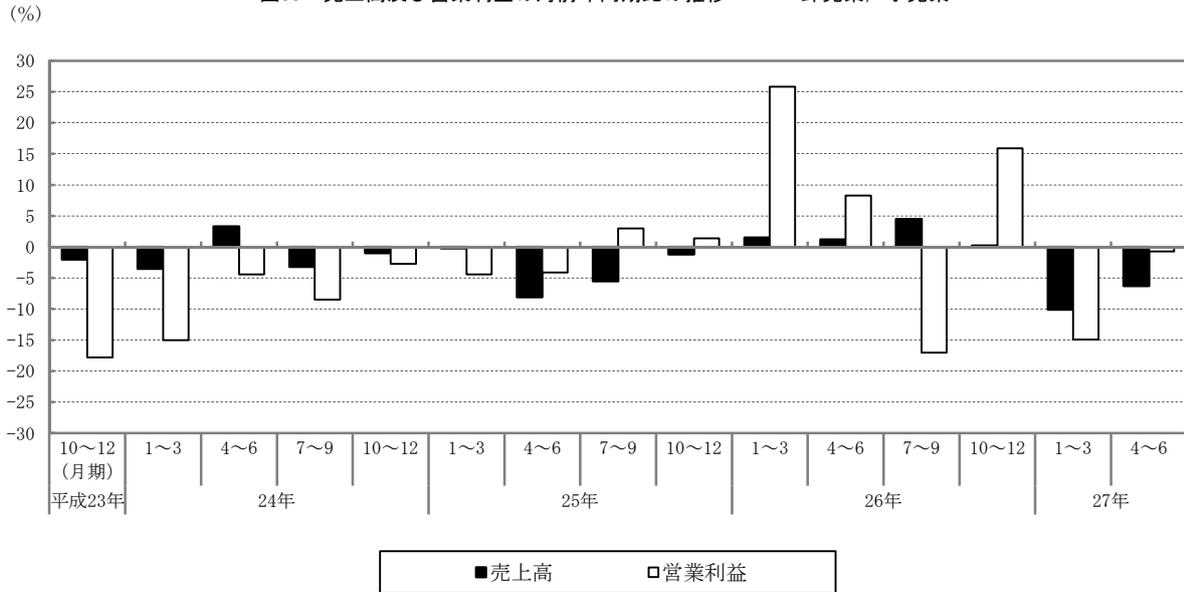
2 卸売業、小売業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は372万9000円で、これに対する費用は売上原価が249万5000円、営業費が80万5000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は42万8000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)6.3%で、2期連続で減少した。また、営業利益は(-)0.7%で、2期連続で減少した。

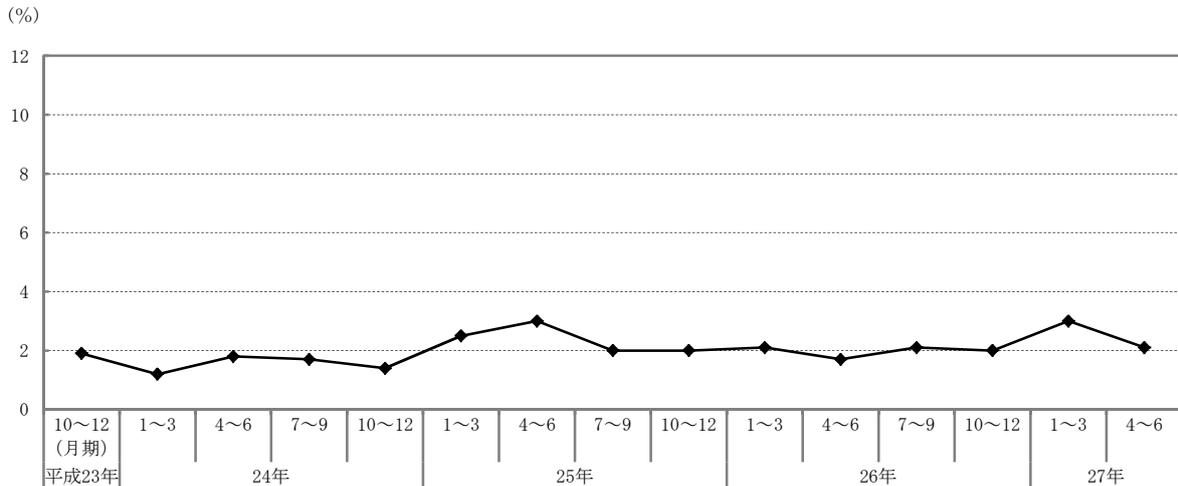
図35 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 —卸売業、小売業—



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は7万9000円で、前年同期(6万8000円)を上回った。また、設備投資率は2.1%で、前年同期(1.7%)を0.4ポイント上回った。

図36 設備投資率の推移 —卸売業、小売業—



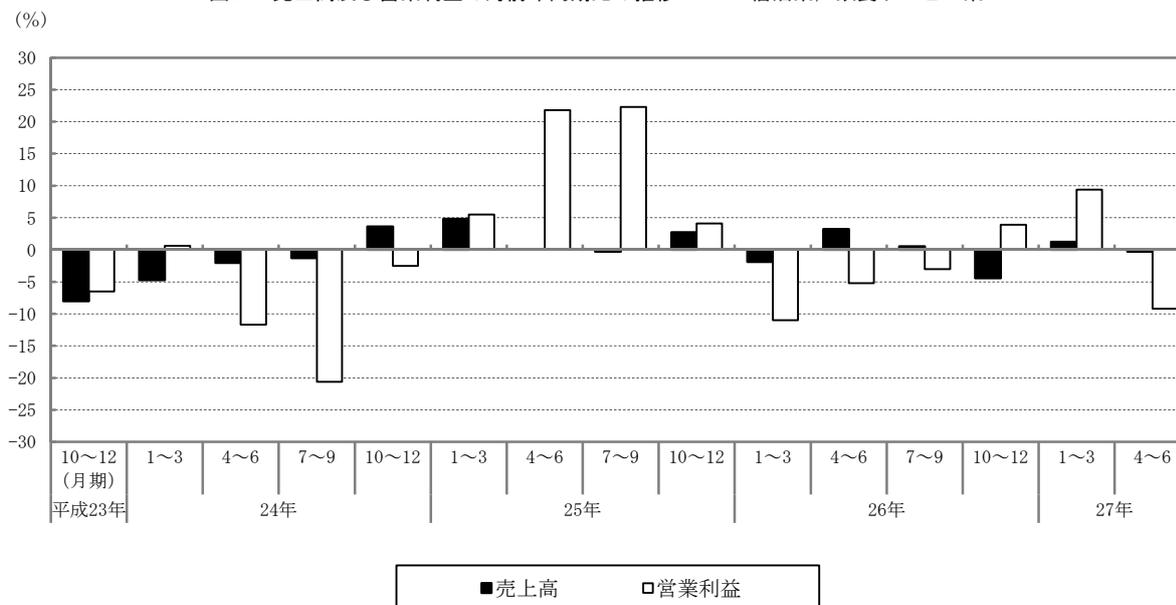
3 宿泊業，飲食サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は214万8000円で、これに対する費用は売上原価が91万1000円、営業費が87万2000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は36万5000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)0.3%で、2期ぶりに減少した。また、営業利益は(-)9.2%で、3期ぶりに減少した。

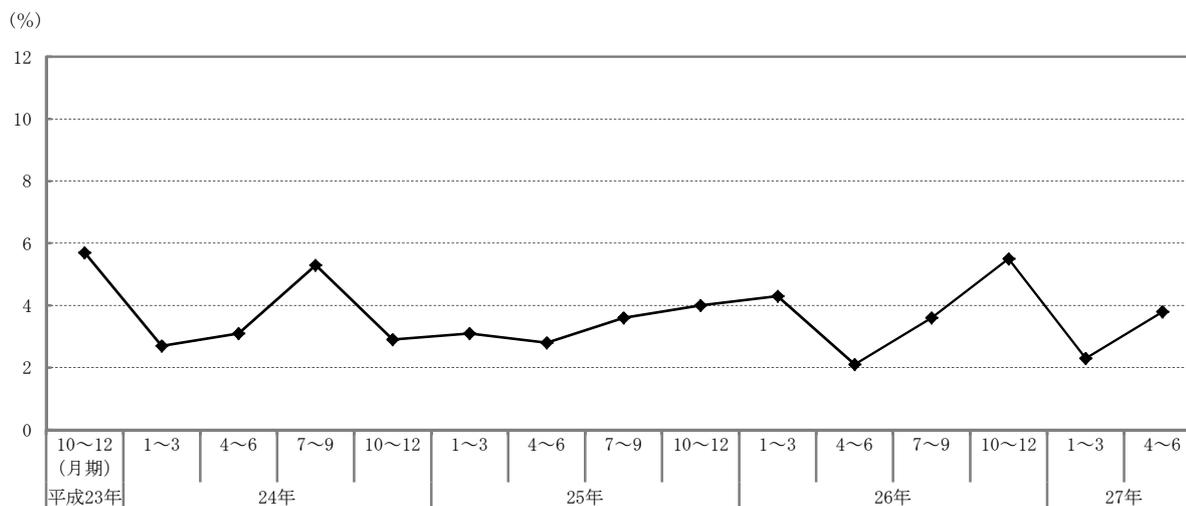
図37 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は8万2000円で、前年同期(4万5000円)を上回った。また、設備投資率は3.8%で、前年同期(2.1%)を1.7ポイント上回った。

図38 設備投資率の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



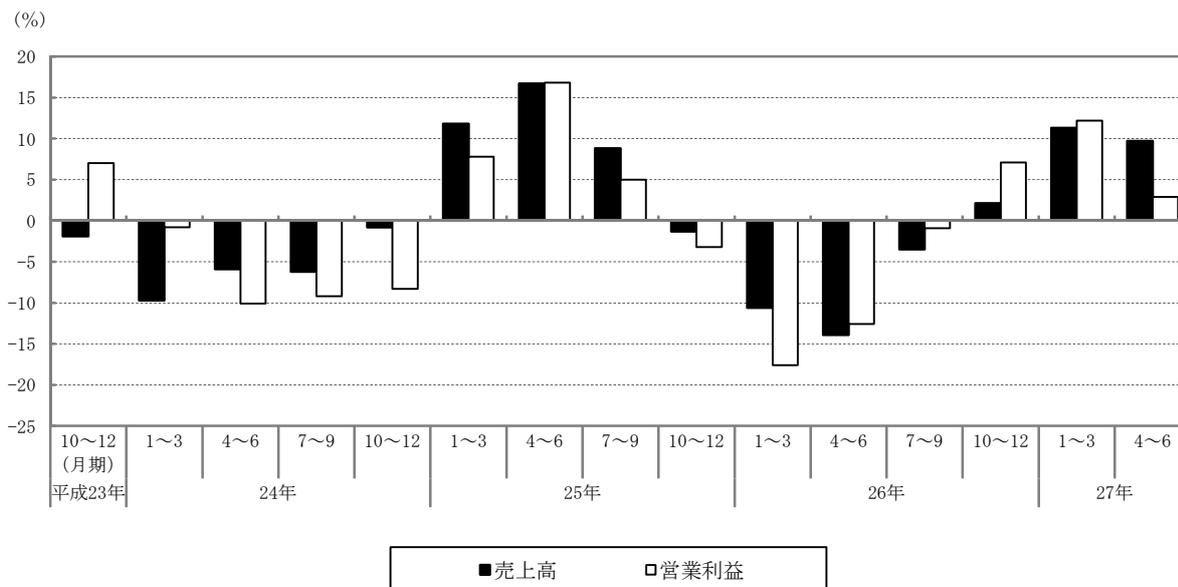
4 サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は132万7000円で、これに対する費用は売上原価が21万1000円、営業費が64万6000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は46万9000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 9.7% で、3期連続で増加した。また、営業利益は(+) 2.9% で、3期連続で増加した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 -サービス業-



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は4万7000円で、前年同期(7万5000円)を下回った。また、設備投資率は 3.5% で、前年同期(6.2%)を2.7ポイント下回った。

図40 設備投資率の推移 -サービス業-

